

祝 町制施行二十周年

記念式典・記念事業が行われる

記念式典

昭和四十八年二月一日、「黒埼村」から「黒埼町」に変わる、いわゆる町制施行が行われて、今年で二十年が経過しました。町では二十周年を祝い、記念式典を行いました。

式典は、七月八日に、黒崎中学校体育館竣工式典と合同で行われ、会場も同体育館。県、近隣市町村の行政関係者、教育関係者など三百人余りが会場に詰めかけました。収入役の開式の辞のあと、町長が「人間で例えれば満二十歳に達したことになる、誠にめでたくまたありがたいことです。今後はしっかりとした将来

七月八日・黒崎中学校体育館

展望に立った町づくりを努力したい」と式辞を述べました。(式辞は次ページで紹介) また助役が「二十年のあゆみ」を説明し、出席者は町の二十年の歴史を振り返り、感慨をあらたにしていました。新しくなった体育館を使用する黒崎中学校生徒代表の長谷川幸男君が、「関係者のご努力で体育館が新しくなり、感激しています。大切に使用していきます」と、よろこびの言葉を述べていました。そのあと、黒崎中学校吹奏楽部のみんながアトラクションとして「黒埼よいところ」などを演奏し、式典を盛りあげていました。



会場設営は式日前日の七日に行われた

受付をすませ、式典会場に向かう出席者

助役が黒崎町の20周年のあゆみを説明する

会場風景



アトラクションでは「黒埼よいところ」など演奏した(黒中吹奏楽部)



黒中生徒会長、長谷川幸男君の「よろこびの言葉」



出席者は20周年の歴史をかみしめながら会場を後にした

黒 埼 町 町 民 憲 章	
一、行てよ、	豊かさを結ぶ町の町を、
一、鍛えよ、	働く心と丈夫な身体を、
一、築てよ、	笑顔に満ちた明るい家庭を、
一、燈すよ、	学問文化に輝く町の町を、
一、広げよ、	近所と町に思いやりの輪を、

10周年に制定された町民憲章

式 辞 黒崎町長 浅妻 茂 一 郎

本日、ここに町制施行20周年記念並びに黒崎中学校屋内体育館竣工合同式典に当たり、来賓各位のご臨席を賜り盛大なる合同式典を挙行いたしますことは、まことに本町の光栄とするところであります。ここに町民を代表いたしまして、ご来賓の皆様には厚く御礼申し上げます。次第であります。

黒崎町は、豊かな水をたたえて延々と三六七kmに及ぶ大河信濃川と中ノ口川との合流地点に位置し、蒲原平野に育まれ繁栄を続けてまいりました。思い起こせば、農村から都市へと変貌しつつあった昭和四十八年二月一日に町制を施行し、早くも二十年の歳月が経ちました。人間に例えれば満二十歳に達したことになると思います。誠にめでたく、またありがたいことでもあります。

本町は、県都新潟市に隣接しているため、宅地開発が進み新潟市のベッドタウンとして、人口が増加して参りました。また、国道八号線や北陸自動車道など交通の要衝として、運輸、卸売、軽工業、サービス業などの町内への進出が顕著であります。幸い私は、町長として町制施行十周年、二十周年と記念すべき時に町政を担当することができ感激を新たにするとともに、これからの町政執行に対する責任の重さを痛感しているところでございます。(中略)また、かねてより懸案

でありました黒崎中学校屋内体育館の竣工は、二十一世紀を担う生徒の体力の増進と体育技術の向上など教育活動に大いに活用されるものと存じます。申すまでもなく地方行政は、住民並びに関係機関のご理解とご協力をなくては、なし得ないものであり、幸い本町における当該施設に寄せられた関係各位及び工事関係者など多くの方々からの並々ならぬご指導ご尽力に対し深く感謝申し上げます。(中略)終わりに時節柄ご多忙

にもかかわらずご臨席を賜りました、来賓各位を始めご案内申し上げます町内関係者に対しまして深甚なる感謝の意を表します。

～20年間のあゆみ～

- 1973年(昭和48年) 2月1日町制施行「黒埼町」となる  
騒音規制指定地域に指定(市街化区域及び国道8号線沿)
- 1974年(昭和49年) 立仏小学校開校  
黒崎中学校体育館一部焼失
- 1975年(昭和50年) 町の木に「黒松」を選択  
黒崎高等学校開校
- 1976年(昭和51年) 都市下水路工事着工(大野新田町裏)  
広域ゴミ焼却場完成(新潟市、亀田町、横越村、黒埼町の四市町村共同で亀田町に建設)  
人権モデル地区に指定される  
屋外体育施設完成(野球場2面、テニスコート2面)
- 1977年(昭和52年) 黒崎中学校人権擁護モデル校に
- 1978年(昭和53年) 総合体育館完成  
6.26水害350haが冠水し農業被害額3億円  
北陸自動車道黒崎～長岡間開通(9月21日)  
農村総合整備モデル事業実施市町村に指定  
日本・中国友好親善菊花大会開く  
人口2万人に到達
- 1980年(昭和55年) 第1回民謡流し実施  
第1回農業まつり実施
- 1981年(昭和56年) サケの稚魚30万匹を中ノ口川に初放流
- 1982年(昭和57年) 黒埼町民歌「黒埼よいところ」発表会  
上越新幹線開通(11月15日)  
流通センター営業開始
- 1983年(昭和58年) 町制施行10周年を記念し「町民憲章」が施行される(2月1日)  
NHKのど自慢を誘致し開催  
第1回「黒埼まつり」開催
- 1984年(昭和59年) 町議会「核兵器廃絶、非核都市宣言」の請願を採択
- 1985年(昭和60年) 関越自動車道が全線開通(長岡～線馬)  
北部地区公民館が開館
- 1986年(昭和61年) 農村環境改善センター完成  
電話番号が広域化 7局が377局に
- 1988年(昭和63年) 北陸自動車道が全線開通(黒埼～米原)
- 1989年(平成元年) 新潟西バイパスが一部開通  
新潟県自動車免許試験場が聖籠町に移転  
役場庁舎増改築
- 1990年(平成2年) 国土法の監視区域に指定される(市街化区域内)
- 1991年(平成3年) 老人福祉センター・デイサービスセンター完成  
新潟ふるさと村オープン  
台風19号町内に被害もたらす
- 1992年(平成4年) 町民農園開園  
新給食センターが完成  
山田土地改良区解散  
肉場・猪立土地画整理事業竣工
- 1993年(平成5年) 黒崎中学校屋内運動場増改築  
町道寺地立仏線入道ボックス内に壁画完成